



学校だより



3月号

令和5年2月28日
横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂



ひびきあえた一年間



学校長 福田 美穂

とても寒いこの冬でしたが、正門前の梅林の花が見事に咲き、よい香りを放っています。また、正門横の桜の木の花芽が膨らみ始め、季節が変わってきていることを教えてくれています。



弥生、3月。巣立ちの月です。本校6年生81名が、18日に小学校を卒業します。この一年間、学校の最高学年としてどうあるべきか、自分はどのようにしたいのか、なりたいのかをじっくり考えて行動していました。そして、活動の後にはいつも学級で、めあてに即して自分の行動を見つめなおすことを繰り返し、その都度大きく成長してきたと感じます。今年度は、ZSFを全校みんなで楽しみ、また、3年ぶりに全校遠足にも行きました。そこでの6年生の存在は大きく、特に5年生は自分が目指す姿としてしっかりとらえていました。立派にリーダーの道筋をつくってくれる6年生が育っていることは、善部小学校の誇りです。



また、どの学年のハーモニーシップ（学習発表会）でも、おうちの方に学んだことを伝えたい、見てもらいたいと誰もが一生懸命に活動していました。今年度は、教室や体育館での発表を直に見ただけだったので（6年生は3月2日に行います。）、子どもたちの意欲もさらに大きくなったのだと思います。そして、それらの学習を多くの地域の方にも支えていただきました。昨年度より多くの学習に地域の力をお借りし、より広く、深く、そしてより安全に子どもたちは学ぶことができました。

本校全教職員とともに、保護者の皆様や地域の方々の応援や支援に心から感謝し、本校の校章の「3羽のカモメ」の大きな教育的意義を再認識しています。お忙しい中ご協力いただいた学校アンケートの結果についても、学校協働運営協議会で評価していただき、よりよい善部小学校となるような助言をいただきました。少しずつコロナ禍前の状態に近づいてきています。この3年間、善部小学校のホームページ等でお子さんの様子を多く伝えてきたつもりですが、直接見ていただいたり、各ご家庭でもっと話題に挙げていただいたりできるよう工夫をしていきます。今後とも、皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしく願います。

また、最後になりましたが、子どもたちの登下校の安全のためにご尽力いただいている見守りボランティアの皆様、一年間本当にありがとうございました。